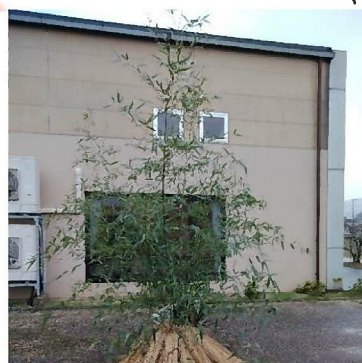


# 簸の上園だより



## 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

日頃より、簸の上園の施設運営に温かいご支援ご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、世の中は少しずつ日常を取り戻し、様々な活動が徐々に再開された年となりました。当園においても居住空間での面会を再開し、ご利用者様の暮らしぶりや居室や園内の様子をご覧いただき、職員も気持ちを新たにご家族様をお迎えしているところです。また、開園50周年の節目となる記念式典を契機に、海潮小学校児童との対面交流も再開し、久しぶりに子供たちの明るく力強い声が園内に響き渡り、ご利用者様のあふれる笑顔が職員にも広がりました。

さて、年明け早々には、能登半島地震や航空機事故と心痛める出来事が相次ぎ、犠牲になられた方々のご冥福、安否不明者の救出を祈るとともに、被災地の方々にはひと時でも心安らく時間があればと願ってやみません。当り前の日常を営める有り難さを痛切に感じ、有事の際にご利用者様や職員をどう守っていくか今一度振り返ったところです。これからもご家族様、地域の皆様方と心を寄せ合い、目まぐるしく変化を続ける社会において歩みを止めることなく、ご利用者様の「暮らし」を支えて参りたいと思います。

今年の干支は「甲辰」。これまでの成果が花開き、成功という芽が成長し姿を整えていく始まりの年という意味合いがあるそうです。当園も積み重ねた50年を糧に、より専門性・質の高い安心・安全なサービスが提供できるよう、職員一丸となって取り組んで参りますので、ご家族様、地域の皆様方も、「チームひのかみ」の一員として、引き続き共にご利用者様に寄り添い歩んでいただければ幸いです。穏やかに普通の暮らしが営める一年となりますようお祈り申し上げます。

特別養護老人ホーム簸の上園 生活支援課長 原 直子

簸の上園 実践理念  
『私が 私でいられる 空間づくり』  
実践方針  
私らしい 暮らしづくり  
我が家と思える 居場所づくり  
最期まで寄り添いあえる 安心づくり  
互いが支えあえる 関係づくり  
地域、家族とつながりあえる 施設づくり



## 各里出来事



クリスマス会を催しクリスマスケーキ作りをしました。皆様に協力していただき、スポンジにクリームを塗ってフルーツを盛り付けていただきました。出来上がったケーキを「美味しい。美味しい。」と召し上がれ、おかわりをされた方もおられました。



### (ほたるの里)

### (神楽の里)



1月はマルシェリーズまでお買い物に出かけました。皆さん思い思いの物を買われました。人気はやはりというか果物やお菓子などの食べ物でした(\*´艸`)  
帰りには奥田神社へ初詣。皆様何をお祈りされたのでしょうか？  
今年も元気にお過ごしください。

お正月を迎え、今年の願い事を利用者様に書いていただきました。

少しでも初詣の雰囲気味わっていただきたい思いで、絵馬の絵を用意しました。また今年の干支である辰年の方に特別な絵馬も用意しました。「どんな1年にしよう？」と職員に相談しながら書かれる利用者様や「健康が大事」と教えて下さる利用者様もおられました。完成した絵馬は素敵に飾りつけを施して、食堂に飾りました。

### (和歌の里)





# 忘年会

12月19日海潮小学校4年生さんのダンス、校歌、縄跳びの発表があり交流をしました。昼食は、厨房職員が腕によりをかけて豪華な食事を準備し、揚げたての天ぷらを提供しました。



# 餅つき



「よいしょ、よいしょ」の掛け声とともに小さい杵と臼で沢山の方についていただきました。つきたての餅とゼリー餅を用意し、きなこをかけて食べました。

# 【～無病息災～とんどさんと獅子舞行脚】



今年も毎年恒例のとんどさんの開催がありました。あいにくの雨ではありましたが無事着火し、勢いよくパチパチと竹が焼ける音が聞こえました。ご利用者様は煙を浴び邪気を払われ、お神酒を飲みながら無病息災をお祈りされました。終了後には焼き芋、リンゴを召し上がられました。

翌日には簸の上園職員有志による獅子舞の行脚がありました。獅子舞の姿を見たご利用者様は笑顔で頭を噛まれておられました。





## 短期入所事業



### <短期入所 ちょっこしトピックス>

短期入所事業でも長期入所の利用様と同じように、園全体行事である餅つきや簸の上園有志職員で開催した獅子舞の舞の観覧などに参加をされ、大盛り上がりの年末年始でした。

簸の上園では、介護認定を受けられた方を対象に短期入所事業を実施しております。お知り合いの方で短期入所のご利用をご希望されている方がおられましたら、居宅介護支援事業所の担当のケアマネジャーさんにご相談いただき、ぜひ簸の上園をご利用いただけたらと思います。

簸の上園は雲南市社会福祉法人連絡会の一員として、「くらしの安心を支える、身近で何でも相談窓口ネットワーク事業」の活動に参加をさせていただいております。「つながるチカラで、アウトリーチ！」を合言葉に、各専門分野の社会福祉法人がキャッチした問題は、抱え込まずにネットワークで受け止めるように連携をしております。何かお困りごとがございましたら、なんでも相談窓口までご相談ください。

担当窓口：生活相談員 宍戸 利充

## 身近でなんでも相談窓口



### 【介護員募集】

簸の上園では一緒に働いていただける介護員を募集しております。

「つながる あなたとご利用者の笑顔

つながる あなたの未来と簸の上園」

私たちと一緒に働きませんか！！

**フルタイム・パートタイム募集中**

【問い合わせ】 0854-43-3125 総務課 曾田まで

### 【お願い】

毎日の支援に20センチ四方程度の綿素材の切布を使用しています。ご家庭で使用の終わったタオル・シーツ・シャツなどを切ったものがあればご持参ください。どうか、ご協力お願いします。

社会福祉法人 島根県社会福祉事業団  
特別養護老人ホーム 簸の上園  
〒699-1253 雲南市大東町中湯石88  
TEL 0854-43-3125  
FAX 0854-43-9107  
HP：<https://www.ssw.or.jp/facilities/seniors/hinokamien>



■こちらのQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと、簸の上園のホームページ、令和5年度制作のPR動画をご覧いただくことができます。